

トピックス

【概要】 1号静岡バイパス自転車安全利用ワークショップ

【目的】

- 静岡国道事務所では、国道1号静岡バイパス(清水IC西交差点～池ヶ谷西交差点)の側道部において自転車通行空間の整備を進めています。
- 道路利用者のニーズを踏まえ、安全で快適な自転車通行空間を整備し、利用してもらうためのハード・ソフト対策を検討するとともに、自転車利用者のマナー向上を図るため、有識者と道路利用者をメンバーとしたワークショップを引き続き開催します。

【位置図】

検討対象：静岡バイパス側道部(清水IC西交差点～池ヶ谷西交差点)
延長＝約10km

※ワークショップでは、事前に参加者から頂いた様々な課題について、対象区間を4区間に区分し、6グループに分けてグループ討論を実施。

※ワークショップ参加者

- ・埼玉大学大学院 小嶋助教
- ・しずおかモビリティ研究会 村井代表
- ・沿道住民(沿線の連合自治会)・自転車利用者(沿線の高等学校)
- ・静岡県タクシー協会
- ・自治体(静岡市・静岡県)・静岡県警察・静岡県交通安全協会
- ・国土交通省静岡国道事務所

【現状・課題】

- ・自転車関連事故の割合は増加傾向。
- ・自転車対歩行者事故数は10年間で1.5倍に増加。

・自転車の通行空間が明確になっていない
・実際の通行箇所も高校生、住民でバラバラ
※アンケート調査結果より

【スケジュール】

- 第1回** 平成25年3月21日(木) ・ワークショップの概要説明
・自転車通行ルール・マナーの勉強①
- 第2回** 平成25年7月11日(木) ・課題の抽出・共有
- 第3回** 平成25年9月26日(木) ・自転車走行空間のあり方の意見交換
・自転車通行ルール・マナーの勉強②
- 第4回** 平成25年11月頃 ・課題への対策方針の検討
・自転車通行ルール・マナーの勉強③
- 第5回** 平成26年1月頃 ・課題への対策方針の決定
・自転車通行ルール・マナーの勉強④

第3回 1号静岡バイパス自転車安全利用ワークショップを開催しました！！

平成25年9月26日に開催された第3回ワークショップでは32名の方にご参加いただきました。今後は、第3回ワークショップで挙げられた課題について、現地確認を行い、静岡バイパスにふさわしい自転車走行空間の整備イメージを検討していきます。

【第3回ワークショップで挙げられた課題】

走行位置に関する意見

	自転車走行位置 A:側道を走行する	B:副道を走行する
イメージ		
良い理由	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車から自転車を認識しやすい。 ●自転車と歩行者が接触する危険が少ない。 ●最短ルートを行く自転車の特性を踏まえると直進できる側道が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車の交通量が少なく、自動車の走行速度が低速である。 ●自転車と自動車と接触する危険が少ない。 ●現在の利用状況では、副道や歩道を走行する自転車が多数。
悪い理由	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車の交通量も多いため、自転車と自動車の並走は危険である。 ●側道は、副道への自動車と動線が交わり危険である。 ●自動車速度が早く、特に大型車との並走は危険で怖い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●副道から急に自転車が出てくると自動車と接触の危険がある。 ●自転車の走行距離が長く、迂回感大きい。 ●副道の路面状態が悪く、自転車では通りにくい。

整備形態に関する意見

	自転車道	整備形態 自転車専用通行帯
イメージ		
良い理由	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車から見ると、明確に分けた方が走行しやすく安全である。 ●自転車道の双方向走行とした方がよい。 ●自転車交通量が多いので自転車道とした方がよい。 ●自転車の停車を妨げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車の歩道通行可のままであれば通行帯がよい ●用地がない箇所では専用帯とすることも考えられる
悪い理由	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車は並走する可能性があり、交通量が多いと詰まってしまう可能性がある。 ●沿道への行き来がしにくい。 ●自転車の走行方向が混在する可能性がある。 ●歩道や植栽帯等の用地が十分な箇所でない整備できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車が停車して通行帯を塞ぐ可能性がある。 ●自動車からみると明確に分かれていないので危険 ●一方通行とするとBPを跨ぐので利用しにくい。

その他の意見

- 着色による走行位置の明示等、安全対策を図る必要がある。
- 自転車・自動車・歩行者を区別する整備してほしい。
- 照明やミラーなど安全を確保する施設を設置してほしい。
- 自動車速度を抑える、副道へ進入する自動車を一時停止させる等の工夫が必要である。

